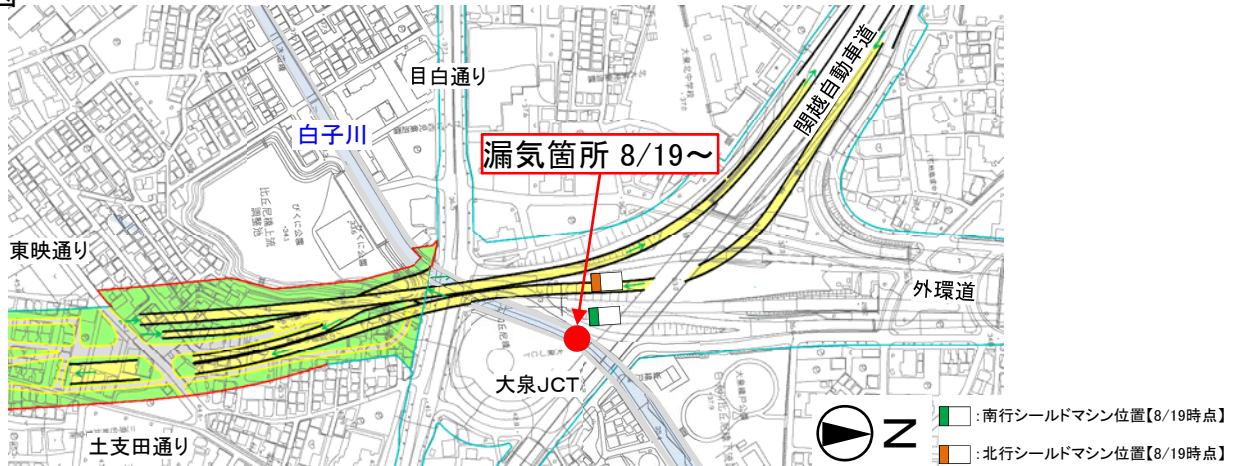


大泉JCT周辺の白子川における漏気について (漏気の推定メカニズム)

令和元年8月19日より、大泉JCT周辺の白子川の水面において微少な漏気が見られております。現在、大泉JCT工事ヤード内では、トンネル施工等検討委員会での有識者の意見を踏まえ掘進時に使用する添加材や圧力を調整しながら工事を進めており、モニタリングしている中で、微少な漏気が確認されたものです。これは、地下のトンネル工事の掘削箇所から、シールド工事で用いる空気のごく一部が地中から河川に漏出しているものと考えられます。また、周辺環境のモニタリングを実施しており、調査結果については、とりまとめ次第、改めてお知らせいたします。トンネル工事は正常に進んでおり、引き続き、安全を最優先に工事を進めてまいります。

○位置図



○漏気の状態

大泉JCT周辺の白子川の水面において微少な漏気が見られております。



○漏気の推定メカニズム

今回の事象について有識者に確認したところ、地下のシールド工事の掘進時に用いる空気のごく一部が、過去の護岸構築時の土留め工跡を通じ、護岸の水抜き孔や目地より河川に漏出したものと考えられるとの見解を頂きました。

白子川への漏気の推定メカニズム(イメージ図)

